



～学び 育む郷土愛～

令和7年度

「広野町ふるさと創生大学」開校のご案内

～令和7年度講義概要～

番号	講義名	講師名(敬称略)	開催日時	内容
①	古代の食卓	広野町教育委員会 猪狩 みち子	6月21日(土) 10:30～12:00 広野町公民館	古代の人々は何を食べていたのか。各地の発掘調査で出土した木簡や文献資料などから、古代の人々の食材と調理方法について探っていきます。
②	中近世城郭の調査と保存・活用	三春町歴史民俗資料館 館長 平田 禎文	8月30日(土) 10:00～11:30	戦国時代から江戸時代を通して地域の拠点であった三春城跡について、古文書や絵図、縄張り、発掘調査の成果から旧状を復元し、どのような保存、活用が望ましいか探っていきます。
③	詩人・草野心平の料理	いわき市立草野心平記念文学館 専門学芸員 長谷川 由美	11月29日(土) 10:00～11:30	屋台の焼き鳥屋「いわき」や居酒屋「火の車」を営んだことがある草野心平(1903～1988)。料理を「愛による発明」と表現した詩人の創作料理や居酒屋「火の車」でのエピソードを紹介します。
④	和食のルーツを探る 一貝塚からみた縄文鍋のなかみー	千葉市埋蔵文化財調査センター 元所長 西野 雅人	令和8年 1月17日(土) 10:00～11:30	国内外で高く評価されている和食。うま味を活かす、鮮度にこだわるなどの根幹の部分は縄文時代にルーツがあったようです。縄文人の食の特徴や5,000年前の千葉の縄文鍋のなかみを紹介します。
⑤	縄文時代の炉と食文化	南相馬市教育委員会 文化財課 学芸員 森 幸彦	令和8年 2月7日(土) 10:00～11:30	縄文時代の中頃、福島県内を中心に、住居の中に「複式炉(ふくしきろ)」という調理施設が造られます。この特殊な遺構を通して、縄文時代の木の葉の加工や調理方法を探ります。

令和7年度も広野町をはじめ浜通りの歴史や先進医療について講義を展開していきます。

- 場 所 広野町文化交流施設 ひろの未来館 2階「多目的ホール」
※6/21(土)の開講式(午前10時00分)と講義は広野町公民館で開催いたします。
- 受講料 無料
- 受講要件 小学生以上の方(町外の方も大歓迎です。)
- 申込締切 各講座開催日の前日まで
- 募集定員 各講義 20名程度

※先着順とし、大幅に定員を超える場合は、調整させていただくことがあります。

※お申込みとお問い合わせは、広野町公民館までお願いいたします。FAX・e-mail可

※頂いた個人情報は会場の変更がある場合の連絡手段以外に使用しません。

【お申し込み先・お問合せ先】

広野町公民館(生涯学習課)

電話:0240-27-3244 FAX:0240-27-2015 e-mail:koumin@town.hirono.fukushima.jp

(〒979-0408 広野町中央台一丁目1番地)

き り と り

令和7年度 広野町ふるさと創生大学 受講申込書

ふりがな 氏 名	住 所	☎連絡先	希望する講義名を ○で囲んでください。
	〒 —		①古代の食卓 ②中近世城郭の調査と保存・活用 ③詩人・草野心平の料理 ④和食のルーツを探る ⑤縄文時代の炉と食文化
	〒 —		①古代の食卓 ②中近世城郭の調査と保存・活用 ③詩人・草野心平の料理 ④和食のルーツを探る ⑤縄文時代の炉と食文化